へ隷 書

會

へ楷 書

(この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする)

半折作品は各課目ごとに横写に一枚ずつたたんで提出ください。

清

原

大

龍

先

生

書

次号予告「千林映日鶯亂啼 萬樹圍春燕雙飛」

自然の風月情尽きる無く

山林に在るが如く楽未だ央ならず(崔巍)

4

井之上

南

岳

先

生

書

大江山 大江山

いくの、み遅農

と本介れ盤は

万多婦みも三須またふみす

あ満の者し堂て

〈百人一首 六十〉

いく野の道の

遠け

れば

またふみも見ず

天の橋立

介行 書~

— 2月末日締切 —

 ∇ 人の加わらぬ風月の情は尽きることがなく、山中に在る身に思われて楽はまだ盛りの域に至らぬ。

条 幅 随 意 (この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

舟 尾 圭 碩 先 生 書

Щ 本 飛 雲 先 生 書

条 幅 随 意 (臨書)

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする)

吉 田 成 美 先 生 臨

 ∇ 張猛龍碑

幅 随 意 (この課題以外の語句書体自由のものもよい。 但、この課目のいずれか一点のみとする)

吉

田

成

堂

先

生

書

涼州武宣王大沮渠時建威將軍武威太

齋藤茂吉のうた 高千穂の Ш のいただきに 息づくや 大きかも寒きかも 天の高山

≪手本(課題例)にとらわれず意欲的な作品を期待します。≫

半折作品は各課目ごとに横冷に一枚ずつたたんで提出ください。

6

条幅随意参考手本(半折½横のみ) — 2月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



小 畠 秋 聲 先生

した曲を書い した曲を書い した曲を書い でみました。 でみました。 くて苦労する くて苦労する んが、行の高 んが、行の高 たを変えなが らまとめてみ 機の糸は私 機りなす布は 総めうるかも しれない | 「糸」

中島みゆきの詞



廣 瀬 蘇 水 先 生

文字の懐の白文字の懐の白文字の懐の白ながを生かしながまってもではながな作品を

□ 書雲めでたい雲

半紙規定参考手本 — 2月末日締切 —

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

川沿いの路には野生の梅の花が香りを放っている。江路野梅香し(唐・杜甫)

次号予告「山櫻早發紅」

吉田成美先生書

半紙規定参考手本 — 2月末日締切 —

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)



吉田成美先生書

次号予告「山櫻早發紅」

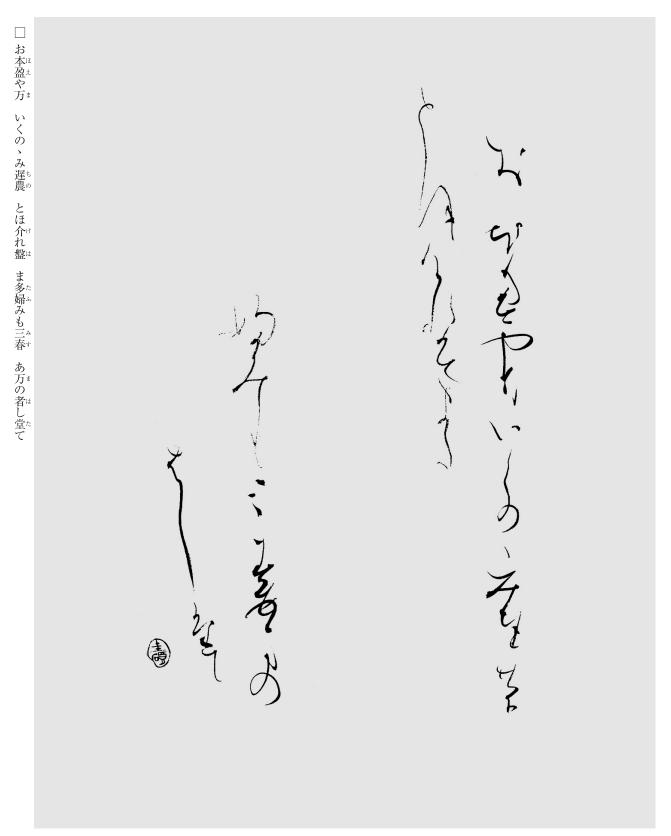
(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



渡邊大嶽先生書

半紙随意参考手本 — 2月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



舟尾圭碩先生書

半紙随意参考手本 — 2月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



西谷芝蘭先生書

◇臨書 → 強さの中にも明るさのある作品を意識して書こう。

半紙随意(臨書)参考手本 — 2月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする)



「武威太守曾祖」

吉 田 成 美 先 生 臨

不川福井。岐阜、静岡、愛知三重 《実用書》 東京神奈川。山梨、長野、新潟、富山

半紙随意参考手本 — 2月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

静	石	長	東
岡)1]	野	京
爱	福	新	神奈
和	井	渦	ST T
111	岐	個	1
重	阜	山	梨
	岡爱	岡爱知远	那 海 湖 海 海 海

秋永春霞先生書

半紙随意参考手本 — 2月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

<手紙文> ンボルになっています。古来多くの詩歌に詠まれ絵画や工芸品にも描かれています 梅の便りが聞かれるようになりました 菅原道真公がこの花を深く愛したことから天神様のシ

大 坪 桂 子 先 生 書

一 般 硬 筆 部 参 考 手 本 ─ 2月末日締切─

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

届 ۷١ カ> 写 春日の 4) 日 3 /M L

罫のある便箋に書いてみよう。

26 cm

X

18 cm

紙質は自由

・文字を書くことを苦手と感じている方の殆どは、書く機会も減る一方のようです。上達の速さは人それぞれ。ゆっくりしたペースで、一文字でも多く、とにかく書く機会を増やしましょう。 ※本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

兵 頭 白 慧 先 生 書

小学4年

小学3年



小学2年

ようねん・小学1年

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

中学2・3年

中学1年

小学6年

坂

元

紫

香

先 生 書

小学5年

△条幅¼=四尺画仙紙半折¼ … 8cm×17・5cm



□「な」の〝むすび〟はふでをまわさずに、うで全体で書きましょう。

ようねん・小学一年 次号予告「ゆ め

紫 香 先 生 書 坂 元

□「立」は三角形、「春」は台形の字形を保ちながら、中心と゛はらい〟に気をつけて書こう。 小 学 四 年 次号予告「交 流

□「花」は文字の中心や組み立て方に注意し、ひらがなは画から画の流れを意識しましょう。

成 美 先 生 書 田 吉

18

小 学 三 年

次号予告「

虫

□「親・切」は扁より旁の方を広くとり、「心」の一・二画目の始筆はあまり力まずに。

小 学 六 年 次号予告「将来の夢」

□ 字形をや、たて長にし、"ハネ"、ハライ"を元気良く、しっかりと書きましょう。

小

学

Ŧī. 年

次号予告「大地に立つ」

学

年

永 春 霞 先 生 書 秋

中学二・三年 次号予告「理想の実現」(行書)

□「出」は一画目を強く、や、台形を保ち、「発」は筆順に気をつけ、、ハライ〟を伸やかに。

中 次号予告「不言実行」(行書)

成 美 先 生 書 吉 \mathbb{H}

□ 各文字の字形に注意しながら、点画の流れを意識し、行書らしい丸味のある作品にしよう。

ようねん・小学一年

乗 (Section of Section of Secti

坂元紫香先生書

小 学 四 年

} }^

. 注[glass]

海

海

単 芳 芳 芳 茂

」 訓 訓 訓 調 調 ではねる

段 級

氏 名

今年もマリアナの海につかが調さすることでの大手がどんな一生を

小 学 三 年

Ŧ ŦΠ 玾 玾 理 1 口き出る 由 段 級 由 名 氏 耂 耂. 考しまする

坂元紫香先生書

小 学 六 年

っていた。

外の風景をぼんやり

がめ

7

いたわたしは、最初、音が

いることに気づかなかった。

爱

Å

ちは一期一会のひに通

小 学 五 年

7 と売れてしまったし、あきらめ もう帰ろうかと思ってい

お昼近くなって

、野菜はほ

自

転車

 \bigcirc

两

側に

つぼをくくり付け

7 と、おみつさんのむしろの前 1 男の が立ちま

段 氏

級

名

11 * 苹 菜 1 IJ Ŋ۶ ŊĦ 帰る

 \Rightarrow

尸

尺

尽 昼

先月のある日曜日、

しは

祖

畠

小

家に行くために一人で電車

学

中 \bigcirc 地

医

|療の現場は厳

段 氏 名

級

紒 紟 紛 疒 柣 浡 痞

幺 糸 彩

先生書

療

严 崖 崖

1/1

秋

聲

13 染 を流

3 黄 i 依 や布をかぶせ写し 模様を整えた

取る画

法

カベ

. . . .

ある のだ おながら、墨流 十度万化、偶然が 一を発展させ 77 4

Z

般

\$

(A)

(この課目はA・Bいずれか一点のみとする)

段級

氏 名

П

₽[¬]

『 即 即 曜 曜

开 ₁

雪電はねる 雪

一 二 兵 垂 乗 乗

段 級

氏 名

※142%拡大で原寸大になります。

え見えました。 姿は、生き、生きとして、まぶしくさ かし、やはり紛争

懸命にペダルをこぐ少年。人々の働

畠 秋 小 聲 先生書